

大垣市第2次教育振興基本計画 分野別振興計画（図書館活用分野） 後期計画（案）

第5節 図書館活用（改定後）

近年、生活環境の変化や様々なメディアの発達・普及などを背景として、いわゆる「読書離れ」「活字離れ」が指摘されております。

こうした中、図書館は、「知の拠点」として、一人ひとりが豊かに生きるために必要な資料・情報を収集し、必要とする人へ提供する役割や、次世代を担う子どもたちが読書を楽しみながら学ぶ力を身につけられるよう、読書活動を推進する役割が求められています。

図書館では、人と資料を結ぶ生涯学習の基盤施設として、多様化するライフスタイルや高度化する市民ニーズに柔軟に対応しつつ、乳幼児期・学童期の読書習慣の形成に取り組み、生涯にわたりいきいきとかがやく人たちを支援します。

1 基本目標と基本施策

基本目標 1	読書活動を推進し、夢に向かって挑戦し努力する人づくりをめざします
--------	----------------------------------

読書活動は、言葉を学び、知性や感性を磨き、チャレンジ精神を高め、自己解決力を鍛える手段として非常に有用です。

あらゆる機会と場所において、すべての人々が自主的な読書活動に取り組める環境を整備するとともに、特に次世代を担う子どもが読書活動を通じて夢や希望を思い描き、成長していく力を育むことを支援します。

基本施策	内 容
(1) 図書館における読書活動の推進	読書の魅力に触れたり、身近なものと感じられたりするような読書活動の機会を提供するため、読書講演会などを開催するほか、積極的な図書紹介や図書展示を行います。
(2) 乳幼児期からの読書活動の推進	子どもが「読みたい」「見たい」「知りたい」と思ったときに、多くの本と出会え、将来的に読書習慣が身につくよう、児童書の充実に努めるとともに、図書館において定期的に読み聞かせ会や講座・体験イベントなどを行います。 また、家庭において読書の楽しさを家族で共有し、読書活動に親しむために、「ブックスタート事業」（※）を継続するとともに、年齢に応じた図書の案内や展示等を行います。

(3) 学校・園等と連携した読書活動の推進	子どもが読書に親しみ、楽しむ習慣を形成できるよう、図書館職員が学校教諭・学校司書・保育士と連携・情報交換を行いながら、図書館見学や職場体験、学校・園等への図書の貸出し、学校図書館まつりへの協力、図書館職員による学校訪問などを行います。
(4) 地域における読書活動の推進	お住まいの地域でも気軽に本が読めるように、地区センターなどの地域文庫(※)の図書の充実を図ります。 また、商業施設などの集客施設やイベント会場等において、図書の展示や体験事業、読み聞かせ等を行い、読書活動の推進に努めます。

※用語の説明

ブックスタート事業：保健センターで行われる4か月健康診査を受診する乳児と保護者を対象に、指導者による読み聞かせ指導を行うとともに絵本をプレゼントする事業。

地域文庫：図書館が所蔵する本を地区センターなどの公共施設に配置し、来館する市民が自由に読むことができる場所。

基本目標 2

図書館サービスを充実し、多様化する社会を心豊かに生きる 人づくりをめざします

近年の社会情勢に比例するように、図書館に寄せられる利用者の声も多様化しています。図書館は、市民に求められている多様性の受容、グローバル化する社会への対応に役立てるよう、「いつでも」「どこでも」「だれでも」図書館にアクセスできる環境を整備し、様々なサービスを提供します。

図書館サービスを通して、多文化を理解し、他者を思いやることができるような心豊かな人々が増えるきっかけを提供します。

基本施策	内 容
(1) 多様なサービスの推進	図書館職員による資料相談を充実させ、ＩＣＴを活用した効率的な貸出し・返却サービスを提供するとともに、図書の予約サービスなどにより迅速かつ確実な資料提供を行います。 また、日々の暮らしの中で生まれる様々な疑問や問題を解決するための豊富な資料を揃える情報拠点をめざすとともに、障がい者や外国人など、それぞれの方に対応したきめ細かなサービスの提供に努めます。
(2) 積極的な情報発信	多くの人に図書館を活用していただくため、図書館発行の広報紙や新刊案内などを、市内公共施設に配布するとともに、各種講座やイベントなどのＰＲ活動を積極的に実施します。 また、広報おおがきや図書館ホームページ（一般向け、子ども向け）、ＳＮＳ など、多様なメディアを活用し、図書館における様々な情報やサービスの発信強化に努めます。
(3) デジタル資料・情報の充実	デジタル資料と親和性が高いインターネットを活用して、新聞やレファレンス（※）のデータベース閲覧サービスや電子書籍（※）の充実に努めます。
(4) 身近な場所でのサービスの充実	図書館への来館が困難な市民であっても、読書に親しみ、楽しむ環境を享受できるように、予約図書を地域の施設に配本します。 また、図書館利用者の利便性の向上を図るため、集客施設に図書返却ポスト等を設け、サービスの充実に努めます。

※用語の説明

レファレンス：図書館の資料やデータベースなどを使って、調べものや、資料・情報探しの補助をすること。

電子書籍：インターネット上で流通する電磁的に記録された読み物のこと。

基本目標 3	郷土資料の活用を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
---------------	-------------------------------------

「文教のまち大垣」には、先人たちが残した地域の歴史や文化が数多く残されています。市民が、郷土の歴史や文化を知り、ふるさとへの愛着を深め、未来へ継承できるよう資料の収集整備に努め、学習研究等への情報提供を積極的行います。

基本施策	内 容
(1) 郷土資料の収集・整備	郷土に関する映像や電子データなどを含む、あらゆる形態の資料・情報を積極的に収集し、広く活用できるよう体系的に整理し目録化します。 また、資料のデジタル化を図り、保存・活用できるよう整備します。
(2) 郷土資料の公開・活用	デジタル化した古文書・古地図・古写真などの郷土の歴史資料を、多くの人が利活用できるように、図書館ホームページ内のデジタルライブラリーなどで公開します。 また、郷土資料を展示や講座等において活用するとともに、歴史文化施設と連携し、展示・講座等の周知を行うことで、多くの人々が郷土の歴史や文化に触れる機会を増やします。
(3) 郷土を学ぶ機会の提供	郷土の歴史資料を積極的に活用して、地区センターや小中学校などでの出前講座や、幅広い層の人が参加できる歴史や古文書などの講座等を開催します。

基本目標 4	魅力ある資料や情報を提供し、かがやき続ける人づくりをめざします
---------------	--

図書館は、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々に利用されており、その目的も「知識を得るため」「教養を深めるため」「調査研究のため」など広範にわたっています。

利用者一人ひとりのニーズにきめ細かに応えることができるように、また、生涯にわたって学習する人を支援するために、今後も様々な分野の資料を収集し一層の充実を図るとともに、多様な学習機会を提供します。

基本施策	内 容
(1) 魅力ある資料の収集・充実	広く市民に読まれている文学作品をはじめ、生き方や、趣味、健康、食べ物など日々の暮らしに関する情報や、ビジネスに役立つ情報など、幅広い分野の資料収集と充実に努めます。 また、「持続可能な開発目標（SDG s）」への理解を深める資料やアクセシブルな書籍等※の収集に努めるとともに、あらゆる人々の学習意欲に応えることができるよう、資料の充実に努めます。
(2) 自主的・自発的な学びの場の提供	市民の自主的・自発的な学びを支援するため、人生に役立つ内容の講座等を開設するとともに、図書館内に学習室やパソコン利用席を設置するなど学びの場を提供します。
(3) レファレンスサービスの充実	レファレンスサービスについて広く市民に紹介するとともに、多くの質問を積極的に受け付け、専門的かつ高度なレファレンスに努めます。 また、レファレンス事例をレファレンスデータベースとして公開するとともに、パスファインダー（調べ案内）を作成・提供し、市民の利便性を高めます。
(4) 市民と共に行う図書館運営	子どもへの絵本の読み聞かせや、視覚障がい者への対面朗読、書架整理、図書修繕など、市民が積極的に図書館の運営に参加できるように活動の機会を提供します。 また、「図書館利用者アンケート」等を実施し、利用者のニーズ把握に努めるほか、「大垣市図書館協議会」において、各分野で活動する委員から図書館運営に関する意見を聴取するなどして、図書館サービスの向上に反映します。
(5) 関係機関等との連携	岐阜県図書館をはじめ、県内外の公共図書館と連携し、相互貸借（※）による図書の貸出しを行います。また、庁内の各所属や

	関係機関等と連携し、各種事業を啓発・紹介するテーマ展示や関連図書のコーナーを設置します。
(6) 施設・設備の整備	誰もが気軽に立ち寄ることのできる「憩いの空間」づくりを目指して、計画的な施設・設備の整備・改修・更新等を行います。 また、受付カウンターの混雑緩和や、安心・快適な利用などを図るため、セルフ端末などの利用者サービスの向上に係る機器等の設置・更新等を行います。

※用語の説明

アクセシブルな書籍等：点字図書、拡大図書等

相互貸借：図書館同士が所有している本を貸し借りすること。